[トヨタ] タイヤ空気圧センサ ID 登録 (例:GS(350/430/460))

概要

- タイヤプレッシャモニタバルブまたはタイヤプレッシャモニタレシーバのいずれかを交換した時は、
 "メイン送信機 ID 登録"を行います。
- •予め各タイヤプレッシャモニタバルブ(空気圧センサ:送信機)の登録 ID を記録して準備します。

タイヤおよびホイール交換、またはタイヤローテーション時の注意

- 新しいタイヤプレッシャモニタバルブを装着したタイヤまたはホイールに交換した場合は、タイヤ プレッシャモニタバルブの ID 登録を必ず行います。
- 別のタイヤセットを取り付けた場合は、セレクトスイッチの切り替えを必ず行います。
 (登録されているタイヤプレッシャモニタバルブが取り付けられているタイヤセットの場合)
- タイヤローテーションのみ行った場合は、タイヤプレッシャモニタバルブの登録およびセレクト スイッチ切り替えの必要はありません。
 - 登録済みの ID はデータモニタによって確認 することができます。
 - 参考:

 ・登録 ID の読み取りが不可能の場合、ホイー ルからタイヤを外し、プレッシャモニタバ ルブ表面に印刷してある ID を確認します。



手順/操作

1. メイン送信機 ID 登録

1.	イグニッションスイッチが OFF である事を 確認して TPM-R を車両に接続し、イグニッショ ンスイッチを ON にします。	
2.	『メーカー選択』画面から <mark>〔国産乗用車〕</mark> - <mark>〔トヨタ/レクサス〕</mark> を 選択して [ENTER] を押します。	メーカー選択 Vbat 13.81 V 国産乗用車 トヨタ/レクサス 輸入車 日産/インフィニティ 国産トラック ホンダ/アキュラ 0B011 三菱 HV整備モード スズキ ダイハツ マツダ スバル ENTER: 選択 EXIT: 戻る



5.	『トヨタ メインメニュー』画面で <mark>〔作業サポート〕</mark> を選択して [ENTER] を押します。	トヨタ メインメニュー Vbat 13.78 V いたいのでの ション シジ町 シュタマイズ カスタマイズ 作業サポート アクティブテスト ENTER: 選択 EXIT: 戻る
6.	『作業サポート』画面で <mark>〔作業サポート[New]〕</mark> を選択して [ENTER] を押します。	作業サポート [New] 作業サポート [Previous] ENTER:選択 EXIT:戻る
7.	車両搭載システムの確認が始まります。	作業サポート 車両搭載システム確認中… しばらくお待ち下さい 16% りばらくお存ち下さい 16% りばらくお存ち下さい 16% りばらくお存ち下さい 16% りばらくお存ち下さい 16% りばらくお存ち下さい 16% りばらくお存ち下さい 16%
8.	『作業サポート』画面が表示されましたら、 (空気圧センサ) を選択して[ENTER] を 押します。	作業サポート Vbat 13.80 V エンジン トランスミッション ABS/VSC 空気圧センサ 電動パワステ イ/С エアバッグ CANV バスゲートウェイ ENTER:選択 EXIT:戻る
9.	『タイヤ空気圧サポート』画面が表示されました ら、 <mark>〔空気圧センサ〕</mark> を選択して [ENTER] を 押します。	タイヤ空気圧 *bat 13.83 V データモニタ 空気圧センサ 空気圧センサ

10.	<mark>〔メインセット〕</mark> を選択して [ENTER] を押し ます。	タイヤセット選択 *bat 13.81 * メインセット サブセット サブセット		
注意:	 ・登録を実行した時点で、今まで登録されていた I Dは消去されます。 ・送信機 ID 登録は、作業実施画面が表示されてから、300 秒以内に 4 輪すべての登録を行います。 ・リセットスイッチ操作後の初期化処理状態の場合は、登録作業はできないので初期化処理の中止を行なうか初期化完了後に登録作業を行います。 			
11.	4 輪すべてのタイヤプレッシャモニタバルブの ID を入力します。 入力後 [ENTER] を押します。	空気圧センサ Vbat 13.83 V ID #1 I7EF452 ID #2 17E8EFC ID #3 17EF403 ID #4 17EF2C5 ENTER : 決定 EXIT : キャンセル		
12.	[ENTER] を押して登録します。	空気圧センサ Vbat 13.81 V タイヤ空気圧センサの登録を行います ENTER:実行 EXIT:中止		
13.	登録中です。	Vbat 13.80 V 空気圧センサ しばらくお待ち下さい…		

14.	4 輪すべての ID 登録が完了しました。 登録が完了しましたら、初期画面まで戻り イグニッションスイッチを OFF にします。	空気圧センサ ^{登録完了(4} タイヤ) ENTER/EXIT:終了			
15.	再度イグニッションスイッチを ON にして 手順 2~8 まで進み、 <mark>〔データモニタ〕</mark> を選択し て[ENTER]を押します。	タイヤ空気圧 Vbat 13.78 V データモニタ 空気圧センサ 空気圧センサ			
16.	空気圧が正常に表示されていることを確認 します。	データモニタ Vbat 13.84 V 初期化SW状態 0FF 送信機1947空気圧 267.5 kPa 送信機3947空気圧 257.5 kPa 送信機3947空気圧 265.0 kPa 送信機4947空気圧 265.0 kPa 送信機5947空気圧 265.0 kPa 送信機1947空気圧 265.0 kPa 送信機1947空気圧 -40 °C 送信機1947内温度 -40 °C データ保存			
参考:	 タイヤ空気圧のデータ更新に約1分かかる場合があります。 サブ送信機 ID 登録の要領は、メイン送信機 ID 登録と同様の手順で行います。 				
注意:	 送信機の ID コードが登録できていない場合 (C2171/71 または C2172/72)がメモリさ 	は、約 60 分後にダイアグコード れます。			

2. タイヤ空気圧初期化

- タイヤプレッシャモニタバルブまたはタイヤプレッシャモニタレシーバを交換した時に、
 ID 登録後、タイヤ空気圧の初期設定作業を行います。
- 注意: • タイヤサイズ変更などのタイヤ基準圧が変わる場合は、必ずタイヤ空気圧の初期設定を行います。
- 準備:
 タイヤ空気圧を点検して規定圧に調整し、車両停止状態でイグニッションスイッチを ON に します。



タイヤプレッシャウォーニングスイッチ No.1 (リセットスイッチ)を3秒以上押し、コンビネー ションメータ内タイヤ空気圧警報ランプが3回点 滅(1秒間隔)することを確認します。

1.

※エンジンが始動している場合はマルチインフォ メーションディスプレイに"タイヤ空気圧システ ム初期化受付けました"と表示されます。





注意: • 初期化が正常に終了しなかった場合は、走行開始して約 20 分経過後にダイアグコード (C2177/77)が出力されます。

3. タイヤ空気圧初期化完了の確認

1.	メイン送信機 ID 登録 の手順 1~8 まで進み、 〔データモニタ〕 を選択して [ENTER] を押し ます。	タイヤ空気圧 データモニタ 空気圧センサ ENTER:選択 EXIT:	vbat 13.78 V アクロン・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ショ
2.	すべてのタイヤ空気圧が規定圧で表示されていれ ば初期化完了です。	データモニタ 初期化SW状態 送信機1947空気圧 送信機2947空気圧 送信機3947空気圧 送信機5947空気圧 送信機5947空気圧 送信機5947空気圧 送信機5947空気圧 送信機5947空気圧 送信機5947空気圧 三 「データ保存 印刷	vbat 13.84 v OFF 267.5 kPa 257.5 kPa 265.0 kPa N/A -40 °C -40 °C

参考:
• タイヤ空気圧のデータ更新に約1分かかる場合があります。